

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年12月7日 No. 40 文責：佐野紳二

児童会役員選挙・立会演説会

12月2日（金）の3校時に、令和5年度の児童会長と副会長を決める児童会役員選挙・立会演説会が行われました。今年は新型コロナウイルスの再拡大があっても困らないようにということで、昨年度同様にオンラインでの立会演説会となりました。大勢の人の前で演説をすることにも意義はあると思いますが、オンラインで行うことによって①暖かい教室で演説を聞くことができる、②演説をする立候補者・責任者を大きな画面で見ることができ、演説の内容もよく聞こえる、③予定の変更がほとんどない、などのよい点もありました。また、今回は投票も Google Form を使った電子投票としました。こちらも集計が素早くできる、白票や無効票を減らすことができるなどの利点がありました。



選挙管理委員のみなさん

さて、肝心の立会演説会ですが、立候補者は自分の政策（会長、副会長になったらこんな活動をしたいという考え）を、責任者は立候補者のよさを、それぞれ大変立派に伝えることができました。カメラの前での演説は、人前での演説とはまたちょっと違った緊張感がありますが、演説原稿は手に持っていたものの、ほとんど原稿を見ずに堂々と演説をする人ばかりで、この日に向けてしっかりと準備をしてきたことがとてもよくわかる、5年生のやる気が伝わってくる演説でした。また、会の進行をしてくれた選挙管理委員のみなさんも、大変スムーズに会を進行することができており、こちらもしっかりとした準備がなされていることに驚きました。



選挙なので、選ばれる人と選ばれない人が出るわけですが、勇気をもって立候補し、こうして演説の場に立つことが何よりも素晴らしいことだと思います。今回の選挙に向けて頑張ってきた立候補した人たちの「やる気」や「勇気」と、その立候補した人を全員でサポートし、頑張ってきた5年生全員のチームワークを大切に、来年の児童会活動に生かしてほしいと思います。

教育ボランティア

11月22日（火）から、火曜日の午前中（1～3校時）に、山梨大学教育学部に在籍の小林城大（こばやし じょお）さんが、教育ボランティアで本校に来てくれています。2年1組と5年生の学習支援を中心にお手伝いをしてもらっています。他の学年の人は接する機会が少ないかもしれませんが、校内で顔を見たときには声をかけてあげてください。



最近ハマったテレビ番組

あまりにも私的な話題でちょっと恐縮なのですが、テレビっ子だった私は、この歳になっても家に帰るとすぐにテレビのスイッチをONにしてしまいます。別に特に見たい番組がなくてもテレビをつけてしまうので、テレビ依存症なのかも知れないですね…。そんな私が最近、ハマっていたのが、NHKで土曜日の夜に放映されていた「理想的本箱」という番組です。

その他にも「舞い上がれ！」が好きで、毎日NHK+で見ています。

番組は、毎回「ひどい失恋をした時に読む本」「人にやさしくなりたい時に読む本」などのテーマに沿って、そのテーマに答えてくれる本を、本の内容に合った映像とともに3冊紹介するというものでした。残念ながら、先日、最終回の放送があり番組は終わってしまいましたが、その最終回の最後に紹介されていたのが、右にある詩が載っている茨木のり子さんの詩集「自分の感受性くらい」でした。



私自身、なぜか詩を読むのが好きで、いろいろな作家の詩を読んだり、学級担任をしているときには自分が選んだ詩を学級通信に掲載して、誕生日を迎えた人にプレゼントしたりしていました。茨木さんのこの詩も、以前に読んだことはあったのですが、今回テレビで映像を付けて紹介されたとき、なぜかこれまで以上に私の心に刺さるものがありました。この詩が紹介されたのは「将来が見えない時に読む本」という回でした。とてを叱咤激励する強さと優しさがある詩なのかな…なんて思っています。

読んでくださっている方にいろいろな話題を提供しようと、いろいろなことを書かせていただいている学校通信ですが、これからも機会があったら私が好きな詩や本の紹介もできるといいかなあ…なんて思い、今回は茨木さんの詩を紹介させていただきました。

自分の感受性くらい

茨木のり子

ぱさぱさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ



上に書いた番組以外に、私がいつも欠かさず見ているのは、TBSの「プレバト」です。母親はテレビ朝日で放映している「ボツンと一軒家」が好きで、毎週日曜日を楽しみにしています。妻はなぜか最近、ゴルフ中継とEテレで日曜日にやっている囲碁や将棋をよく見ているようです。娘は4月から下宿でテレビのない生活をしています。（YouTubeがあればいいという世代です）